第１学年　算数科授業案

授業者　１年❸

１　単元　　「ヘビヘビじゃんけん」でどっちがながい？～ながさ～

２　本時の目標

・間接比較を活用して、長さの大小を比較することができる。（技能）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習形態 | アンプラグドプログラミング | | 使用機器 | 大型テレビ、OHC、HDMIケーブル、タブレット端末、ワイヤレスディスプレイ |
| プログラミング的思考とのつながり | | ＰＭＩツールを用いることで、よさや欠点を見やすくまとめ、情報を比較しやすくすることができる。 | | |

３　展開

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 学　　　習　　　活　　　動　　　　　　　　　※教師の支援　◆ＩＣＴ機器の活用　☆評価 |
| ５  25  40 | ◆前回の授業の様子を思い出して発言ができるようにするため、大型テレビに、前回の授業の様子を映す。  長さの比べ方の確認をして、ヘビヘビ長さじゃんけんの２回戦をしよう  ・もう１回できるから、今度は長いのを作ったよ  どうやって比べればいいかな  ○先生のヘビとヘビヘビ長さじゃんけんをしよう！  ・「ピンピタ法」はどうかな？  ▲何回も比べると切れちゃうから、使えそうにないね  ・手を広げたら比べられないかな  ・指をしゃくとり虫みたいに動かせばいいかな  ▲大きさが変わっちゃうからだめだね  ・ヘビの横に数図ブロックを並べればわかりそうだね  ▲今日は数図ブロックがないから、今からやるのは難しいね  ◆教師の作ったヘビの長さを一斉に共有できるようにするため、ＯＨＣを使って教師のヘビを大型テレビに映す。  ・２年生が紙テープを使って、野菜の長さをはかっていたよ  ・何回もやっていたから、たくさんできるね  ※意見を出しやすいようにするために、前回の方法だと困るところから考えさせる。  ・紙テープを先生のヘビと同じ長さにすればいいんじゃない  ・紙テープならばたくさんできるし、引っ張っても切れないね  ・紙テープがあれば「ピタッと法」と同じようにできるね    ・先生のヘビは６人に勝っているよ  「ピンビリピタ法」の比べ方  ①先生のヘビをまっすぐピンと伸ばそう！  ②先生のヘビの長さに紙テープをビリ！  ③ピンとしたひもと自分のヘビの端をピタッとそろえよう  そろ  ※意見がまとまらなかったり意見が出なかったりしたときは、ペアや小グループで話をする時間をとる。  自分のヘビは何人に勝っているかな    ※ピンビリピタ法のよさに気づくことができるようにするために、比べる活動の時間をあえて短くする。  ○ピンビリピタ法を使って、みんなのヘビと比べよう  　・ひもをヘビと同じ長さにしないとね  　・私は７人に勝つことができたよ　・僕は全員に勝つことができたよ  　・動かせないものも、比べられたよ  ※何人と対戦したかが一目でわかるように、思考ツールとしての表がかいてあるワークシートを用意する。  ※ピンビリピタ法の特徴を理解するように、ＰＭＩツールを使い板書にまとめる。  ☆「ピンビリピタ法」を使って、多くの子と長さの比較することができたか（ワークシート）  ○振り返りをしよう  　・正しく比べることができたよ  　・ピンビリピタ法は短い時間で、たくさんの人と勝負することができたよ  　・次は数図ブロックの比べ方もやってみたいな  　・他にも比べ方があるのかな   |  |  |  | | --- | --- | --- | | Ｐ（よいところ） | Ｍ（こまった　ところ） | Ｉ（おもしろい　ところ） | | ・片方が動かすことができないものでも比べられる  ・何回もできる | ・紙テープがないと、比べられない  ・同じ長さに切るのが大変だった | ・紙テープを使えて、新しい味方が増えた | |